

(株)フォresta鳥海の運営状況をお知らせします。

【主な指定管理施設:ホテルフォresta鳥海】

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数(人)	(A)	22,010	23,485	25,569	28,820	27,868
従業員数(人)	(B)	30	30	31	32	28
年間売上高	(C)	189,573,960	174,573,521	194,339,663	217,648,106	239,853,296
売上総利益	(D)	134,761,496	124,046,088	138,949,135	157,797,280	181,123,760
販売費一般管理費	(E)	164,408,372	161,265,128	172,958,646	203,680,947	205,951,286
営業利益	(F)	▲ 29,646,876	▲ 37,219,040	▲ 34,009,511	▲ 45,883,667	▲ 24,827,526
市からの補助金額	(G)	19,800,000	29,219,000	35,672,185	25,900,000	24,950,000
市からの指定管理料	(H)	0	0	0	0	0
純利益(純損失)	(I)	▲ 8,179,362	▲ 394,674	24,739,289	▲ 9,912,369	5,228,237
資産額	(J)	29,175,241	26,208,614	71,579,205	47,188,100	47,297,530
負債額	(K)	34,487,137	31,915,184	52,546,486	38,067,750	33,132,943
純資産額	(L)	▲ 5,311,896	▲ 5,706,570	19,032,719	9,120,350	14,164,587
資本金	(M)	215,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者1人当たり売上	C/A	8,613	7,433	7,601	7,552	8,607
従業員1人当たり売上	C/B	6,319,132	5,819,117	6,269,021	6,801,503	8,566,189
利用者1人当たり営業利益	F/A	▲ 1,347	▲ 1,585	▲ 1,330	▲ 1,592	▲ 891
従業員1人当たり営業利益	F/B	▲ 988,229	▲ 1,240,635	▲ 1,097,081	▲ 1,433,865	▲ 886,697
利用者1人当たり補助金	G/A	900	1,244	1,395	899	895
利用者1人当たり指定管理料	H/A	0	0	0	0	0
利用者1人当たり負債額	K/A	1,567	1,359	2,055	1,321	1,189
粗利率	D/C	71.1%	71.1%	71.5%	72.5%	75.5%
販管費率	E/C	86.7%	92.4%	89.0%	93.6%	85.9%
自己資本比率	L/J	評価不能	評価不能	26.6%	19.3%	29.9%
負債比率	K/L	評価不能	評価不能	276.1%	417.4%	233.9%
資本剰余額(欠損額)	L-M	▲ 220,311,896	▲ 55,706,570	▲ 30,967,281	▲ 40,879,650	▲ 35,835,413

【用語解説】

粗利率(売上総利益÷売上高)	売上高から原価を差し引いた粗利益を比率にしたものを示した指標。売上高に対する売上総利益の比率を表す。企業の大まかな利益率を把握するための、基本的な指標。
販管費率(販売管理費÷売上高)	売上高に対する販管費(販売費、一般管理費)の比率を示す指標。売上に対して過剰に経費がかかっているかなどを確認する際に使用する。この比率が低いほど効率的な経営を行っているといえる。
自己資本比率(自己資本÷総資産)	総資産に対する自己資本の比率を表す指標。自己資本は、株主からの出資や会社の利益からなるもので、自己資本比率が高ければそれだけ借入金が少ない、健全な経営を行っているといえる。一般的に50%以上が望ましい。
負債比率(負債÷自己資本)	自己資本に対して負債がどの程度あるかを表す指標。財務的な安全性を測る指標として用いられており、一般的には負債比率が低いほど財務的な安全性が高い。負債比率が100%以下であれば自己資本で全ての負債を返済できるので問題はない。
資本剰余額(欠損額)	純資産額(資本総額から負債総額を引いた額)から資本金額を差し引いた額。